玉村町立南中学校

学校だより No.34

発行日　平成２７年１２月１５日

発行者　校長　来　原　靖　一

スマートフォンや携帯電話について（その１）

下の３つの漫画は、文部科学省のホームページから引用したものです。文部科学省では、青少年の健全育成の目的で、「青少年を取り巻く有害環境対策に向けて」という項目の中で、「ケータイ＆スマホ、正しく利用できていますか？（小中学生版）」（２０１５版）を作成し、リーフレットや法律、様々なデータや資料を掲載しています。下の漫画は、その一つである壁新聞の中に掲載されているものです。

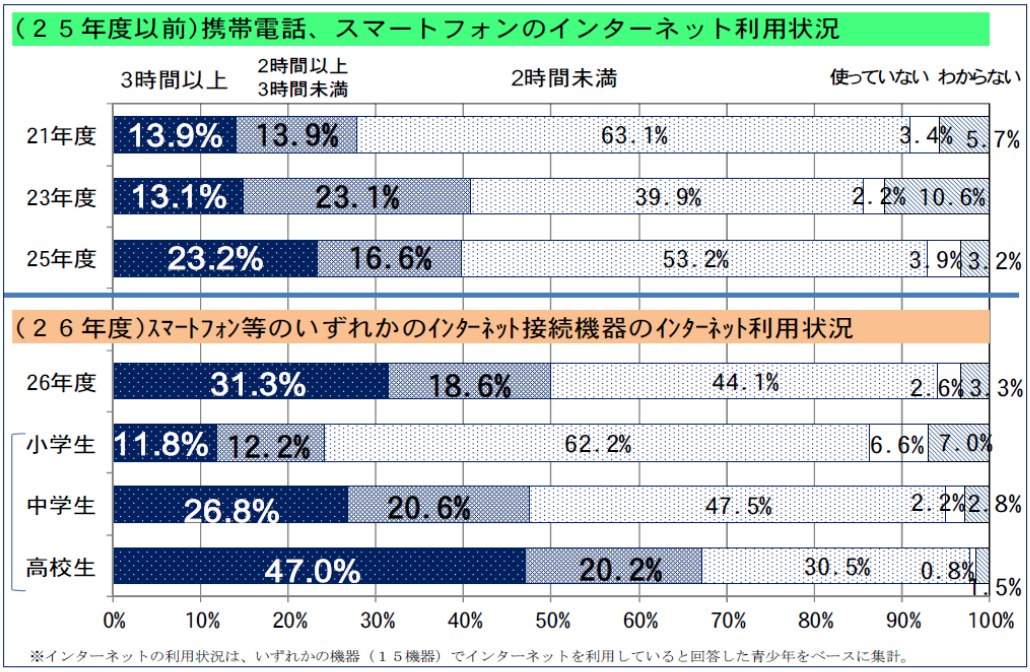
文部科学省はもとより、インターネット上には、スマートフォンや携帯電話についての様々な内容が特集されており、特に中学生・高校生の利用については、その危険性やトラブル、デメリット等について、たくさんの意見が寄せられています。

文部科学省は、平成２０年から携帯電話やパソコン等についてのフィルタリングについての啓発活動を始め、平成２１年から携帯について、平成２５年からスマホと携帯についてのリーフレットを作成しています。（文部科学省のホームページで見ることができます。）

下のグラフは、「内閣府」が平成２６年度までに調査したデータです。小学生から高校生までのスマートフォン・携帯電話のインターネットの利用率は、平成２１年度から平成２６年度までの間に１３．９％ → １３．１％ → ２３．２％ → ３１．３％ と推移しており、そのうち2時間以上利用している率は、２７．８％ → ３５．１％ → ３９．８％ → ４９．９％ と増加しています。

中学生は１日の利用が、平均で**１３０分**となっており、高校生になると、６７．３％もの生徒が１日に 185 分（3 時間以上）も、スマートフォン・携帯電話でインターネットを利用していることになります。インターネットの利用は、様々なサイトへの接続だけでなく、SNS（LINE やツイッター等）も含まれます。

○平日(月～金)にｲﾝﾀｰﾈｯﾄを利用する児童生徒の利用時間や2時間以上利用する割合が増加



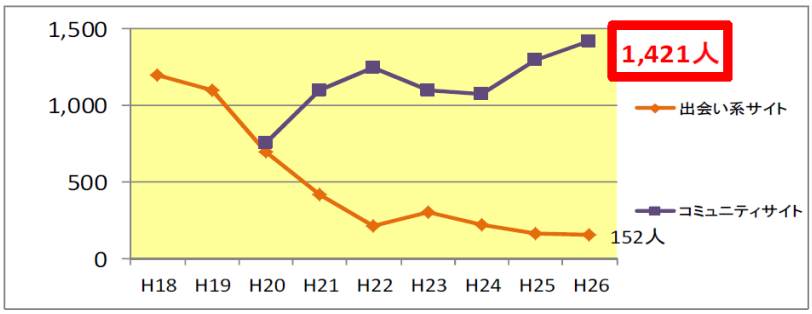
2時間以上	利用時間
27.8%	78分
35.1%	97分
39.8%	107分

2時間以上	利用時間
49.9% ｽﾏﾎ:56% 携帯:13%	143分 スマホ:141分 携帯：63分
小 24.1%	83分
中 47.4%	130分
高 67.3%	185分

下のグラフも先ほどの「内閣府」の調査の続きです。出会い系サイトやコミュニティサイト（情報交換などのコミュニケーションを中心とした Web サイトのことで、興味や関心を共有する人々が、掲示板やチャットなどを利用して情報を交換・共有するもの）がもとで事件に巻き込まれた被害児童数とフィルタリング利用率です。

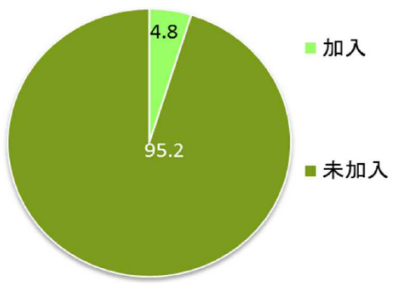
コミュニティサイトによる事件が増加しているとともに、そのほとんどがフィルタリング未加入であることが分かります。

出会い系サイト･コミュニティサイトの被害児童数



「平成26年中の出会い系サイト及びコミュニティーサイトに起因する事犯の現状と対策について」（警察庁）より作成

被害児童のフィルタリング利用率



「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果について（平成26年上半期）」（警察庁）より作成

政府もスマートフォンや携帯電話について真剣に考えています。南中でも各学年で工夫して、授業や集会等で生徒に考えさせるとともに、通信等で保護者の皆様に協力をお願いしているところです。

次号では、実際のトラブルの例や家庭で作るルールなどの工夫について紹介します。